

鶴間新市長の手による初めての予算案を考える

7年度の予算案が発表され、新市長で市政はどう変わるか、注目していました。結論から言えば、前市長の路線を引き継いだところが多くありますが、新たな変化や市民要望が前進したところも見られます。予算案の特徴をお知らせします。

就学援助にPTA会費

所得の低い家庭の子どもを支えるのが就学援助です。教材費や給食費、入学準備金などが支給されます。しかし、国がこれを出さないと言っているのに、支給していない費目もあります。PTA会費、クラブ活動費等です。

ずっと女性団体が運動してきたテーマですが、今回初めてPTA会費が就学援助で支給されることになりました。



津波避難施設の前進

これは新市長の決断とは言えませんが、引き続き、大楽毛地域を中心に津波避難施設の整備が前進します。すでに建設工事が始まっている駅の南側の避難機能を備えた老人福祉センター・生活館の複

前市長を引き継いだ予算の問題点をズバリ

私の期待を裏切った一番はカジノ誘致の予算を付けたことです。また、港湾整備などの大型開発の路線も変わりはありません。もう一つ言わなければならない

合施設室に加え、西消防署大楽毛支署の敷地に新しい支署が避難機能付きで建設工事が始まります。また、現在の老人福祉センターのところに津波避難タワーの工事も始まります。音別の津波避難タワーの工事も着手します。

他の防災面ではどうか

鶴野東地域の雨水対策の要となる「星が浦川の河川改修」が7年度に中鶴野まで伸びて完成します。住宅地の雨水管の整備が急がれます。

また避難所のトイレの基準が、50人に一つから20人に一つと引き上げになったことから、簡易トイレを購入。20人に一つの基準を満たします。

のは、市長自身の公約であるのに関わらず、それを実行しない予算だということです。

所得制限を設けず、0から2歳児の保育料の無償化は、前市長が



今回の共産党の代表質問は
村上かずしげ議員です

明言していた第二子からの無償化に引き下げ。

学校給食費の無償化も、音別町に合わせてちよっとだけ給食費を引き下げることで、お茶をにしました。

これらは市長の公約です。実施するのが当たり前です。

市長は当選直後に、「困った人」手を差し伸べられるような市役所にしていきたい」と答えました。

それなのに、福祉灯油はしない。国保料は上げる。8年度からは水道料金も上げる。福祉の面ではあまり目新しいものではありません。

目を引くのは図書館、青少年科学館の解体でしょうか・・・

